



フェリス女学院創立140周年記念

# Fグループ ジョイントコンサート



2010年 9月23日(木・祝)  
山手フェリスホール  
15:00開演 / 14:30開場

主催 フェリス女学院大学音楽学部同窓会(Fグループ)  
後援 フェリス女学院大学音楽学部

本日はFグループジョイントコンサートようこそおこしくございました。フェリス女学院は本年創立140年をむかえました。山手の丘に学んだ卒業生たちは卒業後も研鑽を継続しこのようにジョイントコンサートを開催する運びとなりました。人生は短し、されど芸術は水し、の金言を実感するのは、卒業してからかもしれません。日々の修練の成果をどうかごらんください。

皆様の暖かいご声援、ご支援をこころよりおねがい申し上げます。

フェリス女学院大学音楽学部学部長 蔵田 雅之

本日はお忙しい中、Fグループジョイントコンサートにご来場くださりましてありがとうございます。

フェリスでの学びを終え、目の前に広がる音楽の森に足を踏み入れた私達は、折りにふれ母校を思い出しながら勉強を続けています。

Fグループはそのような同窓生に出来るだけ多くの演奏の場を作ることが役目だと思っております。

また、全国各地で演奏活動を続けている同窓生から音楽学部同窓会後援の依頼が次々に寄せられています。これも大きな喜びです。

どうぞこれからも皆さまのあたたかいご声援をよろしくおねがい申し上げます。

フェリス女学院大学音楽学部同窓会会長 熊本 美也子

## Program

森田千草

ヴァイオリン(59回)

サラサテ

ツィゴイネルワイゼン

ピアノ 長澤山希(59回)

栗原明子

ピアノ(47回院1回)

シューマン

幻想曲 Op.17より 第一楽章、第二楽章

宮川友美

ソプラノ(54回)

デュパルク

デュパルク

ドニゼッティ

ため息

旅への誘い

歌劇「アンナ・ボレーナ」より

～あの方は泣いているの?...私の生まれたあのお城

ピアノ 谷坂仁美(54回院8回)

久保佐緒理

二台ピアノ(51回院5回)

池浦もと子

二台ピアノ(51回院5回)

ラヴェル

「スペイン狂詩曲」

1.夜への前奏曲

2.マラゲーニャ

3.ハバネラ

4.祭り

山口真理子

オルガン(57回院11回)

J.S.バッハ

ブルーンズ

ラインベルガー

前奏曲とフーガ イ長調 BWV536

前奏曲 ホ短調

ソナタ第8番 ホ短調より 4.パッサカリア

伊藤久加

ソプラノ(37回)

中田喜直

六つの子供の歌

うばぐるま 作詩 西条八十

扇 作詩 小川未明

風の子供 作詩 竹久夢二

たあんき ぼんき 作詩 山村暮鳥

なむの木 作詩 野口雨情

おやすみ 作詩 三木露風

ピアノ 堀内陽子(31回)

中田喜直

“マチネ・ポエティック”による四つの歌曲 より

髪 原保あき子作詞

増矢馨子

ピアノ(38回)

ショパン

ノクターン 8番 変ニ長調 Op.27-2

エチュード Op.10-3 「別れの曲」

Op.10-12 「革命」

バラード 第1番 ト短調 Op.23



## 森田千草

岐阜県出身、6歳よりバイオリンを始める。フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。2008、2009年度共に学内オーディション選抜者によるコンサート「室内楽の夕べ」及び、2010年卒業演奏会出演。同年、第32回読売新人音楽演奏会出演。これまでにバイオリンを尾島綾子、中村静香の各氏に師事。現在フェリス女学院大学院音楽研究科1年在籍。

本日は演奏会にお越し下さり、ありがとうございます。自分にできる精一杯の演奏をしたいと思っております。ぜひお楽しみ下さい。

## 長澤由希

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。在学中、学内オーディション選抜者によるコンサート「室内楽の夕べ」及び卒業演奏会に出演。第45回東京国際音楽協会新人オーディションに準合格し、新人演奏会に出演。第30回三重県新人演奏会出演。これまでに高木真理子、重直由文、橋高昌男、前田美由紀の各氏に師事。現在フェリス女学院大学大学院音楽研究科1年在籍。



## 栗原明子

フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第二回日本アンサンブルコンクール優秀演奏者賞を受賞。在籍中の、小牧洋子、宇野紀子の各氏に師事。現在、フェリス音楽教室にて後進の指導にあたる一方で、作業、室内楽等で活動中。

《幻想曲》は全曲を通して仲を裂かれた恋人クララへの想いが溢れているのと同様にベートヴェンのナタを賞讃し作られた大規模な曲です。私にとって学生時代に練習した思い出の曲であり、再び演奏させて頂く機会を与えて頂いたことに深く感謝しつつ演奏したいと思います。

## 宮川友美



フェリス女学院大学音楽学部声楽学科卒業。在学中、学内特別演奏会「室内楽の夕べ」/「オーケストラ協演の夕べ」/卒業記念演奏会等に出演。卒業後はモーツァルトフェスティバル/夏期セミナー、都城音楽祭等に参加した。これまでに柳倉喜生、釜沼祐子、川上勝功、篠崎義昭、ウヰェルバルマン各氏に師事。現在東京音楽大学大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究領域2年在籍。日本発声学会会員。

大切な想い、思いを込めたフェリスホールでまた歌わせていただけるなんて、とっても幸せです!

## 谷坂仁美



フェリス女学院大学音楽学部器楽学科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程修了。日横文化協会フレッシュコンサート2006、泰山町新人演奏会、日本シヨウシ協会東北支部主催第26回新人演奏会、山手西洋館アフタヌーンコンサート、ラフォルジュルネ・オジャポン・エアコンサート等、多数の演奏会に出演。五十嵐和子、楠木由利子、北川晴子の各氏に師事。

## 久保 佐緒理



フェリス女学院大学音楽学部及び同大学大学院音楽研究科修士課程を修了。その後同大学院研究科研究生修了。2003年フェリス女学院大学「第5回 オークストラ協演の夕べ」に出演。神井川「ハーモニエ」管弦楽団と共演。これまでに久保菜、宗施月子、プロンスワカガワらの各氏に師事。

## 池浦 もと子



フェリス女学院大学音楽学部首席卒業。同大学院音楽研究科首席修了。第11回日本クラシックコンクール全国大会大学生の部入選。2005年「第13回アカデミア音楽祭」にて、オーケストラと共演。2007年、第9回日本演奏家コンクール全国大会一般の部特別賞。これまでに田村安佐子、ヴォルフガング・マンツ、カジミエージュ・ジェルジョ、上田晴子、西川秀人の各氏に師事。

## <2人のデュオについて>

2008年結成。精進賞・長岡賞を頂点にしつつ、久保佐氏の下で研鑽を積みながら演奏会等に出演。2010年国際ピアノデュオ協会主催ピアノ・オーデションにおいて優秀賞受賞。フェリスホールには私たちの学生時代の思い出が沢山残っています。この度、この会場で演奏させて頂く機会に恵まれた事、この上なく幸せに感じております。卒業してもなお熱心に指導下さる久保先生、今まで私道を励み支えてくださった皆様、また本日お越し下さった皆様方に精一杯の感謝の気持ちを込めて演奏させていただきます。



## 山口真理子

08年日本オルガニスト協会新人演奏会、翌年メンデルスゾーン「バウク」(東京カテドラル)に独奏者として出演。武久源治、相山建志両氏に師事。歴史的オルガンを使った録音に参加するなど、マルチに活動。大森ルナール教会オルガニスト。最初は「バハ」作品中でも北独風な前奏曲とフーガです。続くブルースは北独オルガン家派最後の巨匠です。彼は、ワイヤリングを弾きつづけてバグテルで伴奏したいと考えています。この曲にもそれを彷彿とさせる部分があります。最後はラインベルガーの「バツカリア」。ここではフェリスのオルガンの様々な音色をお楽しみください。



## 伊藤久加

フェリス女学院短期大学卒業。同専攻科、研究科修了。二期会オペラスタジオ修了。同修了公演オペラ「フィガロの結婚」花嫁。[廣島]鎌子、「修道女アンジェリカ」ドルチーナ他。オペレッタ「スリー・ワイドワウ」ヴランシエンス、「微笑みの国」ミー、「チャルダッシュの女王」スターゲ、サンジョール主催ミュージカル「ファンタスティック」ルイザに出演他、「第九」[メサイア]「ヨハネ受難曲」に出演する。新演の会(現、日本歌曲協会)日本歌曲コンクールに入選。泉原紗子、辻智子、在籍より各氏に師事。日本歌曲協会、横浜シティオペラ、東京交響楽団、二期会各会員。

卒業してもう〇〇年にこのフェリス女学院で、素晴らしい先生方に指導いただき、At Homeな雰囲気の中、楽しく学んだことを思い出しています。今日このホールで、私の卒業試験のピアノを弾いてくださった境内さんとは一緒に、中田先生の曲を演奏させていただきました。素晴らしい思い出だと思います。Fグループ事務局の皆様、ステキな機会をいただきましてありがとうございます!!

## 堀内陽子

フェリス女学院中学校高等学校を経て、1980年同学院短期大学音楽科ピアノ専攻卒業。同専攻科研究科修了。手塚敏子氏に師事。また在学中神奈川フィルハーモニーと共演。横浜市新人並びに神奈川県立音楽堂新人演奏会、戸塚クラシックコンサート等に出演。その後、88年まで母校の非常勤講師兼副手を務める。現在、朝日カルチャーセンター横浜フィルハーモニー・大森ルナール・エッセイ発表者。最近では、小田原少年少女合唱隊、アンサンブルMORA、マママリナー等の合唱団と共演。また、朗読・打楽器・ピアノのグループ「とびらのメンバー」として、小学校などでお話コンサートの活動をしている。戸塚クラシックコンサートOB会会員。



## 増矢裕子

スイスのヴィンタートゥール・アーチューリック国立音楽大学にて、ト・J・シュトゥルプ教授に師事。ナリステンディプロムを最優秀にて取得。ウィントナーター市立管弦楽団と2回にわたって共演。帰国後もスイス、ドイツ、フランスの各所でソロとして呼ばれたいが、国内国外でのご活動を中心に室内楽分野でも活動している。

今年は、ショパン生誕200年の年ですが、時代と運命に翻弄され、生涯祖国ポーランドに思いを馳せながら人生を送ったショパン。彼の音楽に惹かれながら演奏したいと思っております。この機会を与えて下さった、Fグループ委員の皆様にご心から感謝いたします。

